

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校だより

2020.6.22 NO 5

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

コロナに負けるな！—すずきらなさん黒板アート

登校再開から1ヶ月が過ぎ、梅雨に入って雨が降ったりやんだりの毎日です。今日は朝から雨が降り続け、校庭の木々や草花が恵みの雨をじっとその中に蓄えているようです。そんな梅雨時の昨日、6月21日(日)に、黒板アート作家として有名な「すずきらな」さんが来校し、午後4時頃から8時頃まで、教室棟3階、旧1年4組の教室の黒板にチョークで絵を描いてくれました。この企画は、長い臨時休校を経て再開した市内小中学校の児童生徒たちを、少しでも励まそうと蕪崎市の内籐久夫市長様をはじめ市教委のご厚意で実現されたものです。



本校の今年度生徒会スローガン「皆伸(かいしん)」をテーマとし、「教室の窓からいつも見える富士山の朝焼けの風景の中に、361の☆たちが輝きながら富士山に向かって皆で駆け上がり伸びていく」そんなメッセージを込めた作品に仕上がりました。普段教室で使っているチョークを何層にも重ね、また富士山の裾野に広がる森は黒板の緑の地肌を活かして消しゴムで表現するなど、その多彩な表現力に驚かされます。

今日は朝からクラス毎に時間を決めて見学ツアーが行われ、生徒たちは作品に感心しながらも黒板に込められたメッセージを真剣に受け止めていました。

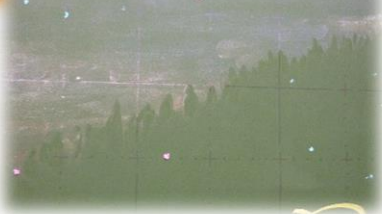
保護者の皆様も三者懇談の折には、ぜひ3階に足を伸ばしてご見学ください。

学校再開からもう1ヶ月なのか、まだ1ヶ月なのか、どうとらえるかによってその意識や行動、そして取組みが変わってきます。いろいろなところの遅れを取り戻しつつ、このまま7月の末まで登校が続いていくことを願い、本校では日々やるべきことを気を緩めることなく、しっかりと続けていきたいと思えます。

最初は輪郭から徐々に完成へと



ちりばめられた星は生徒たち

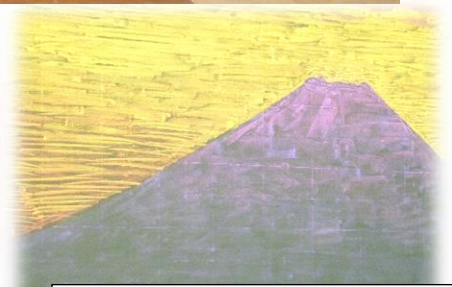




完成後、すずきらなさんとともに みんなで記念撮影



作品を息をのんでじっと見つめる3年2組の生徒たちです



コロナに負けるな！3年生！

